

平成19年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	地域観光プラン作成による地域理解と地域活性化事業		
法人名	学校法人国際総合学園		
学校名 ((2) のみ)	国際エア・リゾート専門学校		
代表者	理事長 渡辺敏彦	担当者 連絡先	片岡 昇 TEL 025-227-6330

1. 事業の概要

高校生が自ら育った地域について、他の地域・他の国からの観光客向けの着地型観光プランを作成・発表することにより、自ら育った地域の魅力を発見・再認識し、地域活性についての「観光」という切り口で考える機会を提供すると同時に、観光業界の地域活性への関わり及び、その業務内容を理解することを目的とする。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

本事業の目的及び重点事項は、旅行プランニングという手法を通しての、観光業界理解及び地域理解にある。観光業界理解においては、3回のプランニング講座での、旅行プラン作製の手法及び着眼点を学び、観光業界が果たす地域貢献について学ぶことが出来た。また成果発表会において、観光業界の第一線の審査員に対して自らが行った観光プランをプレゼンし、そのプランについて評価して頂いた。また、プラン内容においては、地元の観光資源にこだわった観光プランが多く、特に、新潟県柏崎地域から応募した生徒のプランは、中越沖地震からの復興を目指し、地元柏崎の魅力を十分にアピールするもので、プロの業界人である審査員からも、新たな発見があると高い評価を頂いた。その結果、業界関係者からも、非常に意義深い事業で、次年度以降も是非取り組んでいただきたいとのリクエストを頂戴した。以上のことより、本事業の目的は達成できたものと評価する。

②事業により得られた成果

事業により得られた成果

- ・ 高校生の旅行業界理解の促進。
- ・ 高校生が地域の魅力の検証をできた。
- ・ 観光業界人が今まで知らなかった地域の奥深い魅力を高校生の視点から知る機会を持つことが出来た。
- ・ 観光プランを作成し、プレゼンするという手法をとったことにより、プレゼン能力の重要性も本事業により体感する機会となった。

③今後の活用

本事業の成果を新潟県内の高等学校にフィードバックを行い、本事業において、地域理解と業界理解がどのように進んだかを理解していただき、次年度以降も本事業の趣旨を生かした講座を高等学校と連携し行う。

④次年度以降における課題・展開

今回の事業においては、高校生の地元の旅行プランという条件のみでの募集を行い、その結果、応募されたプランは、日帰りから3泊までと様々なもので、またツアー形態においてもグループ向け、個人向けと統一性が無く、審査を頂いた委員から、プランの評価の難しさを指摘いただいた。また、プレゼンテーションにおいても、模造紙でのプレゼンテーションとパソコンを使用するプレゼンテーションの両方があり、より公平な条件による審査のためには、プレゼン方法の指定もあった方がよいとの指摘があった。以上の観点より、次年度以降においては、日帰り、宿泊等のカテゴリ別の募集を行い、より同一条件におけるプラン評価を行う。また、今回の事業においてプレゼンテーション教育の実践の場ともなることが実証された為、プレゼンテーションについても高等学校との連携を行い、プレゼンテーションについても連携プログラムに入れ実践を行っていく。今回の事業において、1講座の時間は2時間程度であったが、同一の生徒に対し、プランニング講座の他、プレゼンテーション講座も2時間程度の実施が必要となり、より高等学校との連携の強化が必要となる。いずれにせよ、業界・高等学校からは今回だけの実施ではなく、今後も恒久的な実施をしていただきたいとの要望を頂いており、今回の事業の反省も含め改善を行いながら、事業の継続を行っていく。

3. 事業の実施に関する項目

① ニーズ調査等

新潟県内の高等学校へ訪問し、校長室、進路指導室を訪問し担当の教諭を紹介いただき、講座の趣旨を説明しニーズ調査を行った。

①職業体験講座、講演会の実施

3月8日(土)に新潟市生涯学習センター(クロスパルにいがた)において、成果発表会としての実証講座を実施。応募点数14点のうち、事前に成果発表分科会で選考した7校10点のグループのプランのプレゼンテーションによる発表を行う。当日は、参加高校生12名、見学生徒7名、引率教諭2名が来場し、発表会を実施。審査員は成果発表分科会の、早福国際ホテルプライダル専門学校副校長田島JTB関東課長、大桃ホテルさどや常務、増田ホテル日航新潟総副支配人、田中愛宕商事旅行事業部長が観光プランの審査及び、参加生徒に対する指導を行った。

②その他

カリキュラムの開発

1. プランニング講座カリキュラム

国際エアリゾート専門学校の旅行系講師が、プランニングの着眼点、プランニングの方法についての「プランニングシート」を開発し、二時間程度でプランニングできるカリキュラムを開発。